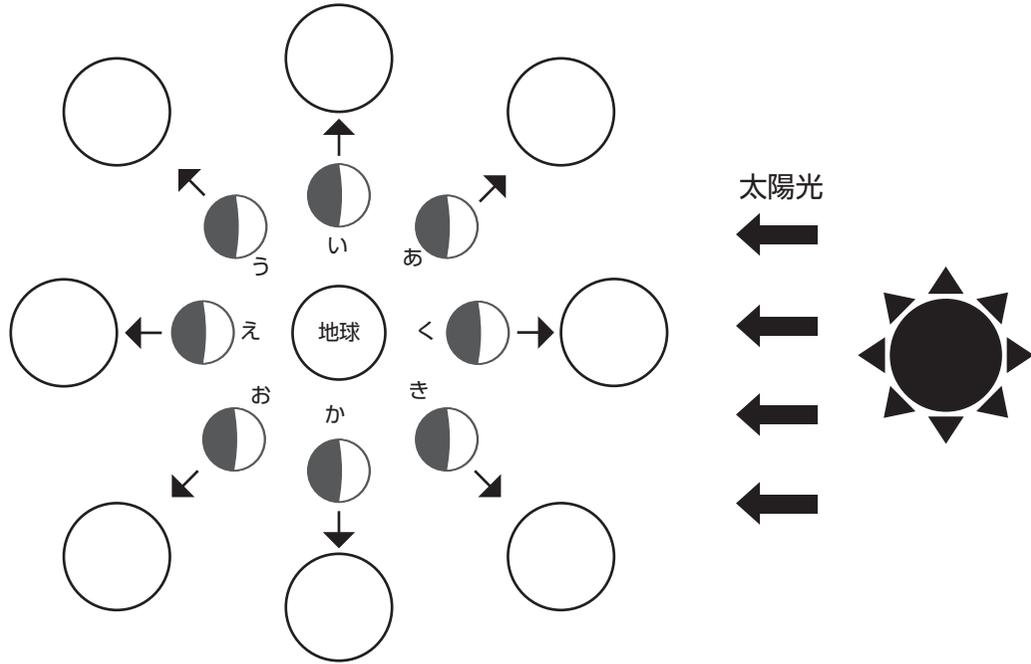


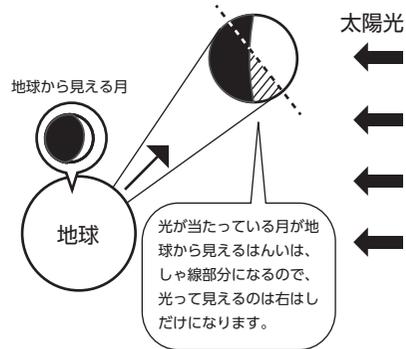
年 組 番
名前

観察板を使って月があ〜くの位置にあるとき地球から見た月の形はどのように見えるか調べ、下の○に月の形を書きいれましょう。



光の当たり方と月の見え方

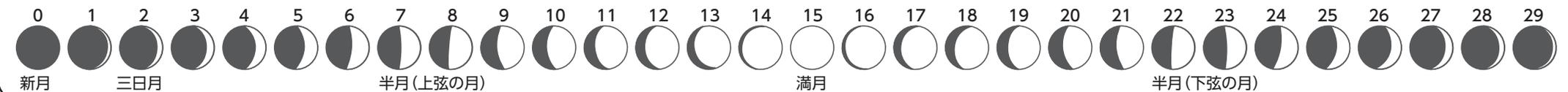
上の図では月はすべて右側に光が当たっている半月に見えますが、地球からみると月はいろいろな形に見えます。これは右の図のように、月の位置によって月の見えるはんいは変わるためです。



月の形の変化

月の形は毎日変わります。

太陽と同じ方向にあるため、光が当たらず見えない月を新月といいます。新月から約15日で満月になり、約29.5日で新月にもどります。



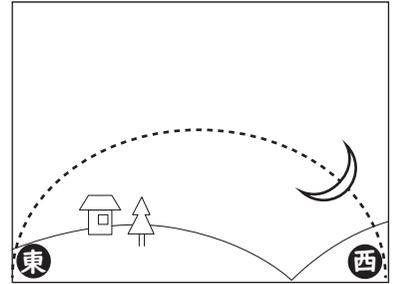
★月の形と位置変化について()に当てはまる言葉を書きましょう。

月の形が日によって変わる理由は、()と()の位置関係が変わるからである。

★右の図はある日の空のようすです。西の空に三日月が見えています。太陽はどの方角にあるでしょうか。また、午前と午後どちらの空のようすか、正しい方に○をつけて説明文を完成させましょう。

太陽は(月がかがやいている側・月がかがやいていない側)にあるので、太陽は(東 ・ 西)の方角にある。

太陽は(東 ・ 西)から上って、(東 ・ 西)にはずむので、(午前 ・ 午後)の空のようすである。



☆多与謝蕪村の俳句に「菜の花や月は東に日は西に」というものがありますが、このときに出ていた月はどのような形でしょうか。理由も説明してみましょう。

また、午前・昼・午後のいつごろに出ていた月か考えてみましょう。

①俳句から月と太陽の出ている方角を確認しましょう。

② ①の月と太陽の位置関係から月の形を考えてみましょう。

③ ①・②から月が出ていた時間は、午前・昼・午後のいつごろか考えてみましょう。

観察板の方角を月と太陽の位置に合わせて確認してみましょう。